

2025年度
第2学期

課外授業ゼミ

受講無料

宮城学習センターでは、学生同士の交流や直接教員から指導を受けられる貴重な学び場として、演習形式の課外授業ゼミを開講しています。

受講希望の方は、10ページの「課外授業ゼミを申し込まれる皆様へ」を確認の上、右QRコード(Google フォーム)よりお申込みください。先着順で受け付けます。

宮城学習センターウェブサイトにも、Google フォームを掲載します。1つのフォームから複数のゼミを申し込むことができます。受付期間内であっても、定員になり次第、締め切ります。



お申込み時に以下の①～③をお知らせください。

①ご希望のゼミ名 ②お名前 ③学生番号

休講や日程変更の連絡は、[キャンパスメール](#)へお送りします。その他、[センターWebサイト](#)へも掲載しますので、ご自宅を出発する前にご確認ください。

受付期間

10月24日(金)9:30～11月2日(日)17:30

地域社会で「自分らしく生き切る」とは～他者の生き方から学ぶ

加藤 由美 先生

日時:第2・4 木曜日
14:00～15:30
初回:11月13日(木)
定員:20名

このゼミでは、地域社会で「自分らしく生き切る」ことを各自が自分事として考えていきます。テキストには「死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者」(小堀鷗一郎)を用います。毎回、本書の内容に関する各自の感想や意見、疑問等をたたき台に自由な意見交換を中心に行う予定です。

このテーマに正解はありません。興味関心のある方の参加をお待ちしています。

【学生自身が用意するもの等】

小堀鷗一郎「死を生きた人びと 訪問診療医と355人の患者」みすず書房、2018年5月1日発行、ISBN:978-4-622-08690-1

音と音楽の心理学

中嶋 みどり 先生

日時:右記日程の
14:00～15:30
初回:11月18日(火)
定員:15名

音楽や音が人にどのような影響を及ぼすかを実践的に検討するゼミです。どのように音や音楽を認知し、どのような反応(例.快・不快、ストレス、懐かしい、闘争心が湧く)が生じるかは、流れている音や音楽のもつ特性や個人的要因(例.既知・未知、好み、気分)など多様な影響も受けています。初回にはそれを概説し、参加者の関心をもとに深める内容を全員で決めます(よって、個人の思いが叶うとは限らない)。

その後、聴取に値する音楽を宿題に検討していただき、次回以降の聴取し、多くの項目で評価作業をしてもらいながら、多様な要因、反応をもとに検討を深める予定です。

【ゼミ開催日】11/18 12/16 1/6 2/3 3月は未定

西洋美術の歴史

尾崎 彰宏 先生

日時:第2 火曜日
12:30～14:00
初回:11月11日(火)
定員:25名

本授業では、前期に引き続きイタリア・ルネサンス以降の西洋美術を中心に学ぶ。絵画・彫刻・建築などの作品を取り上げ、その成立背景や社会・思想的文脈に着目しながら、美術が担った文化的役割を考察する。

また、芸術と権力・宗教・経済との関わりを検討しつつ、現代社会の課題——多様性・環境・人間の生と死の問題など——と接続し、美術史の今日的意義を探る。

【学生自身が用意するもの等】 筆記用具など

人文社会自主研究ゼミ

尾崎 彰宏 先生

日時: 第 4 火曜日
12:30~14:00
初回: 11 月 25 日 (火)
隔月開催
(次回 1 月、次々回 3 月)
定員: 15 名

このゼミは 2021 年後期から始まった。受講生が自分の学んでいることや考えていることを発表し、それをもとに参加者全員で議論する形式である。学びは受け身で知識を得るだけでは深まらない。自分で問題を見つけて考え、それを他者に伝えることで、理解の不足や新しい課題が明らかになる。
発表は 1 回のゼミにつき二人程度を予定し、隔月で開催する。ゼミは発表希望者がいる場合に開講する。
【学生自身が用意するもの等】 筆記用具など

事例で学ぶ家族法

栗原 由紀子 先生

日時: 第 1・3 金曜日
14:00~15:30
初回: 11 月 21 日 (金)
定員: 25 名

今学期は、家族法(親族・相続法)についての判例や裁判例を素材に、家族や相続に関する様々な法律問題を考えていきたいと思います。
家族法に関する基本的な法律知識を確認しながら、家族法の代表的な判例について、事件の概要からじっくり読んでいきましょう。
時間の許す限り、最近の家族法改正動向についても触れていきたいと思います。

データ分析の基礎を学ぶ実習形式のゼミ

和田 裕一 先生

日時: 第 1・3 火曜日
15:00~16:30
初回: 11 月 18 日 (火)
定員: 10 名

Python やその他アプリケーションを用いて、データ分析の基礎を実践的に学びます。データの集計・整理から可視化、簡単な統計解析、簡単な機械学習までを扱います。統計処理やプログラミング未経験者も歓迎しますが、データ分析に意欲を持ち、積極的に取り組める方を希望します。
基本的には第 1 学期から継続するかたちで進めますが、第 2 学期からの参加も歓迎します。
【学生が用意するもの等】
ノート PC。放送大学のアカウントでログインできる(無線 LAN を利用できる)状態にしておいてください。
パソコン室の PC を利用する学生は事前に事務室に問い合わせてください。

災害の記録を読む ～明治 22 年水害と仙台・宮城～

川内 淳史 先生

日時: 第 1・3 木曜日
15:00~16:30
初回: 11 月 20 日 (木)
定員: 25 名

このゼミでは、身近な地域の歴史資料を読み解きながら、当時の社会について学びたいと考えています。
昨年度に引き続いて、明治 22 年(1889)9 月に宮城県下を襲った水害の記録を読んでいます。当時書かれた記録の写真版(コピー)を受講者と一緒に読み解き、当時の被害の様相や、災害に遭遇した人々、地域の様子について学びたいと思います。
ゼミで読むテキストについては、こちらで用意いたします。比較的読みやすいテキストを用いますので、古文書解読の経験の無い方も歓迎です、また、前学期の続きを読んでいます。初回授業ではこれまでのおさらいをしますので、今年度初めて参加される方も大歓迎です。
【学生が用意するもの等】
参考文献としては以下のテキストがあります。(当日用意する必要はありません)
天野真志『記憶が歴史になるときー遠藤家文書と歴史資料保全』
蕃山房、2016 年
【備考】
参加者には半期で 1 回、発表の機会をしてもらいます。発表の仕方および担当日については、初回のゼミの際に説明をいたします。

生きる意味についてーフランクルを読むー

戸島 貴代志 先生

日時:第 2・4 水曜日
10:00~11:30

初回:11 月 12 日(水)
定員:25 名

このゼミでは、ヴィクトール・フランクルの著作を読みながら、フランクルの言う「生きる意味」について考えます。フランクルは、「人生の意味」とは何かと人生に問いかけるまえに、むしろ人生のほうから我々は問いかけられている、と考えます。私たちは個々の人生の局面でその都度何を為すべきかを「問われている」ということです。

このことの理解を踏まえて、ゼミでは、なぜ何のために生きるのかということを中心に、広く世界や人間の問題について考えます。

【学生自身が用意するもの等】

用意するものは特にありません。テキストは初回に配布いたします。

東北の海と底びき網漁業の今昔

片山 知史 先生

日時:右記の日程の
10:30~12:00

初回:11 月 7 日(金)
定員:25 名

多種多様な漁獲物で、私たちの食と地域経済を支えてきた沖合底びき網漁業は、今後も責任ある漁業として、持続的に行われていくでしょう。そのことについて以下の出版物の内容を中心に、海洋生態系、漁業の歴史、魚の生態、関連するトピックス等から解説し、わかりやすく学んでいきます。

(「魚が底から湧いてくる海 東北の海と底びき網漁業の今昔」

片山知史、河北新報出版センター)

- 1 11/7 東北の海と生態系
- 2 12/19 東北の底びき網漁業の歴史と現状(茨城、福島)
- 3 1/16 東北の底びき網漁業の歴史と現状(宮城、岩手、青森)
- 4 2/6 責任ある漁業と底びき網
- 5 3/6or13 東北の漁業のこれから 東日本大震災を経て

【学生自身が用意するもの等】

スライドで解説しますので、特にご準備いただくものはございません。

「地球と宇宙のサイエンス」

小原 隆博 先生

日時:第 1・2・3 水曜日
14:00~15:30

初回:11 月 12 日(水)
定員:20 名

一学期に引き続き、「地球と宇宙のサイエンス」ゼミを開講します。

担当教員から、「宇宙」に関する話題を提供します。話題は毎回読み切りで、面白く興味あるテーマを取り上げます。現在のテーマは、「宇宙研究フロンティア」ですが、終了後は、「大宇宙 123 の謎」を取り上げます。

受講生の皆さんは、「地球」や「宇宙」から、不思議と思うテーマを自分で選んで、調べた結果を発表することが出来ます。そして、ゼミ参加者全員で結果を共有し、「地球」と「宇宙」の理解へと繋げていきます。

皆様の参加をお待ちしています。新規の方、大歓迎です。

【学生自身が用意するもの等】

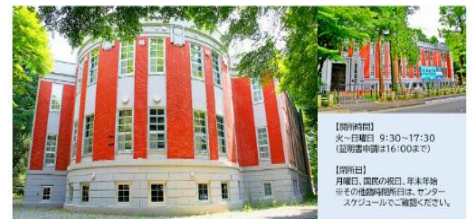
ゼミ生のテーマ選びの参考文献として、例えば、以下の図録があります。

★地学図録(視覚でとらえるフォトサイエンス) 数研出版、毎年改定

課外授業ゼミを申し込まれる皆様へ

- ・課外授業ゼミは単位にはなりませんのでご注意ください。
- ・授業形態は講義室での対面形式です。
- ・受講当日は、宮城学習センター2階出入口に掲示している「本日の部屋割り」で教室をご確認いただき、そのまま教室へ入室してください。
- ・受付期間より前の期間に連絡をいただいても、受付いたしません。必ず受付期間内にお申込みください。
- ・課外授業ゼミは、**毎学期ごとにお申込みが必要です**。お申込みしないで参加すると、休講や日程変更の連絡をお送りすることが出来ません。
- ・単位認定試験期間中(2026年1月18日(日)～1月26日(月))のゼミは、休講となります。
- ・事務室では、複数ゼミの参加を制限していませんが、時間帯が重なるゼミへ参加する場合は、早めに退室する、少し遅れて参加する等、**ご自身で判断の上**、受講してください。

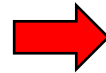
休講や日程変更があった場合は、宮城学習センターのホームページ「課外授業ゼミ」に掲載します。
※センターの事務室窓口前掲示板にも掲示します。



当センターでは、入学に関する相談・入学後の学習に関する相談を随時承ります。
詳細はこちらをご確認ください。

在学生の方へ

学生証・証明書発行	施設利用案内	学習相談
課外授業ゼミ	面接授業について	利用の手引
センター外短期学習室	面接授業追加登録	面接授業後修生の就業
卒業研究	準備中	準備中



キャンパスメールについて

今学期より、ゼミに関するメールを送る場合は**キャンパスメール**へ送信します。
キャンパスメールへは、センターからだけでなく、大学本部からも修学関連の連絡を随時送っています。普段からキャンパスメールを確認していただきますよう、お願いいたします。確認方法が分からない場合は、事務室までお問合せください。

前回ログイン日時
2025/02/27 14:07

色・プロフィール設定

パスワード変更

キャンパスメール

WAKABA のトップページからクリックして
キャンパスメールを確認できます。
ログイン画面が出てくることもありますが、
その場合は WAKABA と同じパスワードで
ログインしてください。

下記メールアドレスが学生全員に割り振られます。

【 学生番号(ハイフン除く半角 10 桁)@campus.ouj.ac.jp 】

※キャンパスメールに届いたメールを、普段ご利用のメールアドレスへ自動転送することができます。
設定方法は、システム WAKABA「キャンパスライフ→附属施設・情報システム」でご案内しております。

